

栃木放送平成 24 年度第 5 回 9 月期定例番組審議会議事録

1.開催の日時 平成 24 年 9 月 14 日(金)午前 11 時

2.開催の場所 栃木放送本社会議室

3.委員の出席 委員総数 9 名

出席委員 6 名

欠席委員 4 名

| | | |
|---------|---------|-----------|
| 出席委員名 | 委員 長 | 増 田 仲 夫 |
| | 委 員 | 鈴 木 正 好 |
| | 委 員 | 太 田 照 男 |
| | 委 員 | 安 納 守 一 |
| | 委 員 | 竹 内 明 子 |
| | 委 員 | 小 島 俊 一 |
| 局側出席者氏名 | 代表取締役社長 | 水 沼 富 美 男 |
| | 常務取締役 | 竹 澤 一 夫 |
| | 報道制作局長 | 高 瀬 一 也 |

4 議 題

(1) 防災特番 「災害時の情報伝達」について

(2) その他

5 議事内容

(1) 防災特番 「災害時の情報伝達」について

試聴番組：平成 24 年 9 月 2 日(日)放送

防災特番 「災害時の情報伝達」のおよそ 12 分間を試聴

議題説明：報道制作局長 高瀬一也が

番組概要について説明。次に審議に入る。

各委員からは、

今回の防災訓練の特長は連携訓練だったが、それが説明されていたのか疑問である。

防災訓練をすべからく伝えるのは至難の業。こういう時期にこういう放送があったというところに意義があると思う。

知事や市長に話を聞くのはどうかと思う。もっと特化して聴取者はどう行動すればいいのかなどの情報が大切。身近な事例を掘り下げたほうがいいと思う。

市長や知事の話はあまり意味がないと思う。

訓練の様子を伝えるよりも、実際に役立つ情報を。

番組のタイトルに沿った情報伝達の部分を強調したらよかった。

実際に災害が起きた時に栃木放送は何をするのかがない。もっと積極的に出したほうがよい。

放送すること自体には意義があると思うが、栃木放送がどういう風に情報を伝達するかをきちんと伝えるべき。

住民が欲しい情報を的確に伝えてほしい。

災害の時に頼りになるのはラジオなので、ラジオの大切さをもっと出してもいいのではないか。

栃木放送が災害のときに何をどう伝えるのかを最後のまとめの部分であったらよかった。

住民に防災意識をつけるために定期的に番組をやることは大切。などの意見が出されました。

当社としては、これらの意見を参考に、今後の番組作りに取り組んでいきたい旨を説明した。

(2) その他

平成24年度第6回10月期の審議会を平成24年10月19日(金)に開催することを決めて閉会した。

以上